

# 佐賀県感染症発生動向調査速報

平成18年第37週 平成18年9月11日(月)～平成18年9月17日(日)

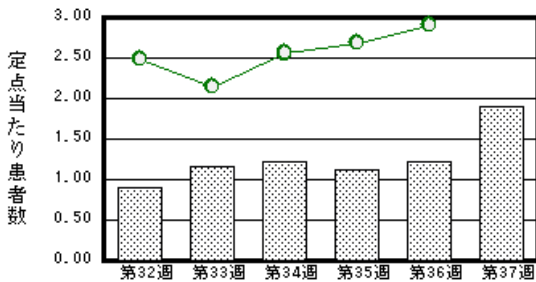
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

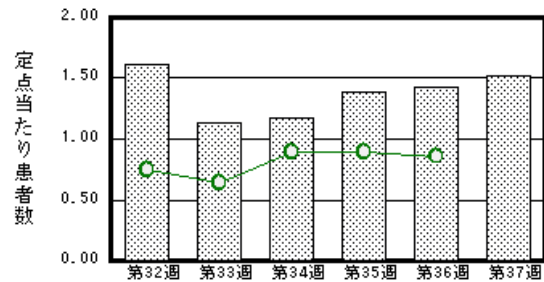
## 注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎 (44名) 突発性発疹 (35名) 手足口病 (25名)  
ヘルパンギーナ (15名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (14名)
- 【腸管出血性大腸菌感染症】杵藤保健福祉事務所管内で1名(O157)の届出がありました。手洗いや食材の加熱等を心がけ予防に努めましょう。詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。  
<http://www.kansen.pref.saga.jp/o157/o157.html>

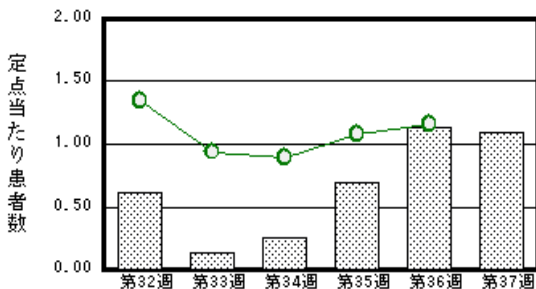
感染性胃腸炎



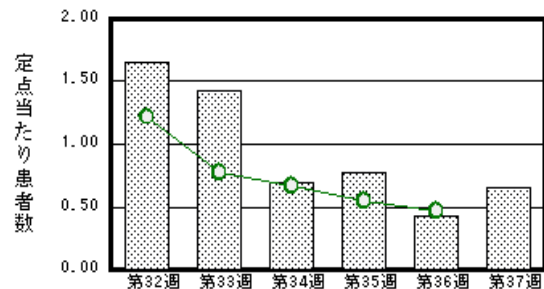
突発性発疹



手足口病



ヘルパンギーナ



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

## 全国版感染症週報 (IDWR) 2006年第35週号 (8月28日～9月3日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第35週 > 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続して増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第35週の報告数は257例で、第35週までの累積報告数は2,553例である < RSウイルス感染症 > 年齢を問わず発症がみられる疾患であるが、特に乳幼児において重要である
・ 病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2006年 / ヘルパンギーナ患者から検出されているウイルス2006年 / 咽頭結膜熱患者から検出されているウイルス2006年
・ 速報	ヘルパンギーナ、手足口病患者からのエンテロウイルス検出状況 - 神奈川県
・ 海外感染症情報	インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況 / エチオピアおよびソマリアでのポリオ流行
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

# 佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

## 全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症 (O157) (三類感染症)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症* (五類感染症)	梅毒 (五類感染症)
患者 (住所地)	1名(20歳代男性) (杵藤保健福祉事務所管内)	1名(70歳代男性) (——)	1名(50歳代男性) (——)
無症状病原体保有者	0名		
感染原因・感染経路	不明	不明	性行為感染 (異性間)
平成18年届出累計	13件54名 (今週1件1名)	1名	3名
平成17年	同 期	24件49名	6名
	届出累計	31件59名	6名

\*劇症型溶血性レンサ球菌感染症については、国立感染症研究所感染症情報センターの「感染症の話」を御覧ください。http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k02\_g2/k02\_46/k02\_46.html

## 佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成18年第37週 平成18年9月11日 (月)~平成18年9月17日 (日)

定点種別 (定点数)	管轄保健福祉 事務所 病名	佐賀県					計	前週	全国 (第36週)
		佐賀中部	鳥栖	唐津	伊万里	杵藤			
小児科 (23)	インフルエンザ (39) インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								40 0.01
	RSウイルス感 染症							1 0.04	109 0.04
	咽頭結膜熱	1 0.13	2 0.67	4 1.00			7 0.30	23 1.00	2080 0.69
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	3 0.38	2 0.67	1 0.25		8 1.60	14 0.61	11 0.48	2047 0.68
	感染性胃腸炎	12 1.50	16 5.33	1 0.25		15 3.00	44 1.91	28 1.22	8748 2.91
	水痘	5 0.63	1 0.33			1 0.20	7 0.30	8 0.35	1589 0.53
	手足口病	3 0.38	6 2.00	16 4.00			25 1.09	26 1.13	3484 1.16
	伝染性紅斑	1 0.13	1 0.33	3 0.75		1 0.20	6 0.26	13 0.57	953 0.32
	突発性発しん	8 1.00	8 2.67	9 2.25	2 0.67	8 1.60	35 1.52	33 1.43	2579 0.86
	百日咳								36 0.01
	風しん								3 0.00
	ヘルパンギーナ	5 0.63	8 2.67	1 0.25		1 0.20	15 0.65	10 0.43	1410 0.47
	麻しん (成人 麻しんを除く)								4 0.00
流行性耳下腺炎	4 0.50	1 0.33	2 0.50	3 1.00	1 0.20	11 0.48	12 0.52	2683 0.89	
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								14 0.02
	流行性角結膜炎								748 1.18
基幹 (6)	細菌性髄膜炎							1 0.17	5 0.01
	無菌性髄膜炎								38 0.08
	マイコプラズマ肺炎	1 0.50					1 0.17	4 0.67	179 0.40
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								9 0.02
	成人麻しん								

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成18年第37週 平成18年9月11日(月)~平成18年9月17日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイ ルス感 染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
0~5ヶ月		0~5ヶ月								1						0~5ヶ月								
6~11ヶ月		6~11ヶ月				9	2	1		27			2		1	6~11ヶ月								
1歳		1歳		2	1	12		7		7			3		1	1歳								
2歳		2歳		1	1	4	1	8					1		1	2歳								
3歳		3歳		1	3	3	2	5	1				3		1	3歳								
4歳		4歳		1	1	1		3	1				1		1	4歳								
5歳		5歳			2	5	1		2				3		3	5歳								
6歳		6歳			1	2		1	2				1		2	6歳								
7歳		7歳		1	1	1							1		1	7歳								
8歳		8歳			1										1	8歳								
9歳		9歳			2	1										9歳								
10歳~14歳		10歳~14歳		1	1	4										10歳~14歳					1			
15歳~19歳		15歳~19歳				2	1									15歳~19歳								
20歳~29歳		20歳以上														20歳~29歳								
30歳~39歳																30歳~39歳								
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳								
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計		7	14	44	7	25	6	35			15		11	合計					1			
前期計		前期計	1	23	11	28	8	26	13	33			10		12	前期計			1		4			
当期間/前	***	当期間/前		0.3	1.27	1.57	0.88	0.96	0.46	1.06	***	***	1.5	***	0.92	当期間/前	***	***		***	0.25	***	***	
増減数		増減数	-1	-16	3	16	-1	-1	-7	2			5		-1	増減数			-1		-3			

\*\*\*は前期計が"0"のとき

